



# 夢チャレンジ

## 校訓

かしこく たくましく うつくしく

令和3年3月23日 第15号 文責 梶原 圭一



## ふるさとを臨み ふるさとに感謝する

苓北町当局のお取り計らいにより、卒業を前にした6年生に、海から見えるふるさとの景色を見たりイルカウォッチングを体験したりすることを通して、小学校生活のよき思い出づくりをするとともに郷土を愛する心を育むことを目的に、「ふるさとの景色とイルカウォッチング」を実施していただきました。

当日は天候にも恵まれ、富岡小学校の6年生とともに出港しました。自分たちが毎日過ごす坂瀬川小校区全体を海側から臨むことは、なかなかできることではない体験でした。6年生の子供たちの感想を見ると、改めて坂瀬川の自然の豊かさや素晴らしさについて書かれたものが多数ありました。また、当日はあまりイルカが現れないのではないかと予想されていました。しかし、多くのイルカが船の周りに近付いてきて、まるで子供たちを歓迎してくれているかのようなようでした。子供たちも歓声を上げて、その動きに見とれていました。

新型コロナウイルス感染症拡大のために、様々な行事等が見送られる1年でしたが、最高の思い出となったようです。このような機会を与えてくださった苓北町の方々に対し、子供たちが変わって深く感謝申し上げます。ありがとうございました。



## 令和2年度を振り返って

本日、坂瀬川小学校59人の子供たちに全員に、修了証を手渡しました。令和2年度を振り返ると、子供たち、職員、保護者や地域の方々を合わせ、新型コロナウイルス感染症と戦う毎日だったように感じます。

4月上旬から5月までの臨時休校に始まり、これまで当たり前だった学校生活も一変しました。「新しい生活様式」に沿って行事等の見直しや中止を余儀なくされました。

しかし、このような困難な状況にあって、改めて学校の存在意義やこれまで当たり前のように実施してきた教育活動の本来の目的を見直す機会にもなりました。また、その中で本校の子供たちは、自らを見つめ、「自ら学ぶ」楽しさを感じながら、さらに一歩前へと前進し、確かな成長の様子を見せてくれました。

本校の教育活動に対して、ご理解並びにご協力いただいた保護者の方々、地域の方々に心より感謝申し上げます。令和3年度もどうぞよろしくお願いいたします。



# 3学期の学校評価 ありがとうございました

3学期は50日ほどの短い期間でしたが、2学期にいただいたご意見を元に、職員一丸となって知恵を出し合い、教育活動を進めてきました。1学期や2学期と同様に、本校の教育活動に対しまして、全体的に高い評価をいただきましたことに、心から感謝申し上げます。これらのご意見を受け、すぐに職員全員で成果と課題を洗い出し、それぞれの部会ごとに次年度以降の対策を検討しました。学校評価にご協力いただき、ありがとうございました。

【2学期よりも向上した項目】 (数値は、とても当てはまる+だいたい当てはまるの割合(%))

頭の元気	子どもは、授業が楽しく、分かりやすいと言っている。	92.5(+1.2)
	子どもは、家庭学習の習慣が身につけている。	88.7(+4.5)
体の元気	学校は、授業や給食を通して、食の大切さを教えている。	94.3(+8.4)
	子どもは、交通安全や登下校の安全に気をつけている。	96.2(+5.0)
心の元気	学校は、思いやりの心や豊かな心を育てようとしている。	98.0(+5.0)
	学校は、子どもたちの良さを見つけ、子どもを理解しようと努めている。	98.1(+3.4)
開かれた学校 教育環境	学校は、学年だよりなどを発行し、学校や子どもの様子を知らせてくれる。	98.1(+1.6)

【次年度以降さらに努力が必要な項目】 (数値は、とても当てはまる+だいたい当てはまるの割合(%))

頭の元気	子どもは、進んで読書に取り組んでいる。	54.7(+5.6)
	子どもは、正しい姿勢や鉛筆の握り方ができている	67.9(+13.5)
体の元気	子どもは、進んで外遊びやスポーツをしている。	84.9(-2.8)
心の元気	あいさつがよくなる学校である。	83.0(-2.9)
開かれた学校 教育環境	学校は、運動会や学習発表会などの学校行事を工夫している。	92.5(-4.0)

## 【考察として】

「頭の元気」については、すべての項目で2学期よりも高い評価をいただきました。2学期の学校評価から重点的に取り組んできた「読書」「正しい姿勢」「鉛筆の握り方」について改善傾向は見られましたが、保護者の方々と連携しながら、今後も粘り強く取り組んでいく必要があります。「体の元気」では、新型コロナウイルス感染症の第3波拡大により、室内で過ごすことが多かったことが要因として考えられます。今度、ゲームやスマートフォン等とのつきあい方についても、保護者の方々と話し合っていきたいと考えています。「心の元気」のあいさつについては、今後も子供たちに「なぜ」「どうして」といった目的を問いながら、次年度も力を入れていきたいと思えます。

## すくすく芽生え坂瀬川教室 お世話になりました

地域の中で子どもを育てることを目的として、30名の支援ボランティアの皆さまのご協力の下、「すくすく芽生え坂瀬川教室」が実施されてきました。

本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により2学期からの取組でしたが、9名の児童が火曜日と木曜日の4時30分から6時まで、学習やランドゴルフやミニバレー、絵手紙、将棋、習字、脳トレなど、楽しく活動していました。

本年度最後の活動では、支援ボランティアの方々に対する感謝の会を行いました。これまでの活動の様子を映像で振り返り、子供たちからの感想発表やお礼の手紙を入れたファイルを渡していました。ご協力いただいた支援ボランティアの方々も、子供たちの発表をうれしそうに聞いておられました。1年間、大変お世話になりました。

参加児童の少なさや坂瀬川小校区の保護者と地域が連携した新たな地域学校協働活動の方向性を検討するため、次年度は休止することとしました。支援ボランティアの皆さまには、また新たな形で子供たちの見守り支援活動をお願いしていきたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願いたします。

